

第8回 旧北上川河口かわまちづくり検討会 議事要旨

日 時： 令和3年1月22日（金） 13:30～15:30

場 所： 石巻グランドホテル 2F 鳳凰の間

(a) 議事 (1) 【資料1「第7回旧北上川河口かわまちづくり検討会」以降の検討概要】

- 維持管理の中で地盤高の変化等を確認しながら対応していく。
- 生物調査を含めた環境調査を行うことを検討する。

【主な意見】

- ・震災時に地盤が沈下した後、隆起に転じており、当初想定した親水テラス等の冠水頻度が変わってきている可能性がある。すぐに何か対処を行う必要があるということではないが、地盤の変化や潮位変動などについて時間をかけて様子を見てほしい。
⇒今後どこまで隆起が進むのか、維持管理の中で、地盤高の変化等を確認しながら対応していきたい。なお、例えば住吉地区については当初想定していた計画高では、水面から離れたものになってしまうことが確認されたため、現地の水位を観測するなどして施工する高さの再設定を行っている。
- ・今後の堤防利活用について、河川協力団体制度の仕組みを活用しながら、各種の団体等と協働して利活用・維持管理の取組みを進めていけると良い。
- ・昔はサワガニやメダカがいた。それらが定着し、生き物が豊富な空間にして欲しい。
⇒住吉地区で整備した干潟では、ヨシなどの植生を子供たちと一緒にやっていく予定である。今後どういった水生生物が入ってくるか、また、どのような植物を植えていけば良いか、専門家の意見も伺いながら検討していく。
⇒生き物が住めるよう自然石を使った水辺づくりをしてほしいとの要望が以前からあり、そうした川づくりを進めてきた。今後は環境調査を行い、生き物の生息状況等を確認していきたい。
⇒住吉の干潟は、子供たちに自然観察してもらうことが大事であるという観点で整備したものである。環境調査については、地元の生徒・児童も一緒になって取り組んでいければ良いと思う。

(b) 議事 (2) 【資料2 関連事業の進捗状況】

(c) 議事 (3) 【資料3 旧北上川河口かわまちづくり検討会について】

- 今後、様々な視点から活用できるよう配慮しながら、かわまちづくりの記録集を作成する。

【主な意見】

- ・旧北上川河口は、創造的復興の代表的事業になったと感じている。今後は、デザインの設計思想を記録にしっかり残し、市民が憩いの場として活用しながら、その経緯を学んでいくことが必要だと思っている。
- ・今後、施設を維持管理していくうえで、少しずつ手直ししたり、より使いやすくする工夫など、今回のようなデザインの行為は、ずっと続くと思うので、デザイン管理を行う体制を検討してほしい。
- ・記録集については、場合によっては編集委員会のような体制を設置しながら、いろいろな人たち

が様々な目線から活用できるものとしてほしい。

- ・水辺空間の利活用が始まり、今後起こりうるクレームやトラブル等には、地域の方々が自由に議論できるような住民主体のサークルのようなものができるといい。

(d) 議事 (4) 【その他】

- ・自然災害について、今後もきちんと伝承していくことが重要である。
- ・堤防を最大限に使いながら、市民の皆さんの憩いの場にできればいいと感じている。
- ・地域のまちづくりや産業、住んでおられる方の生活とマッチした治水になるよう、これから利活用していただく中で、改善すべきことは引き続きやっていかなければいけないと思った。
- ・しっかり自立しながら石巻市民が本当に誇りを持って川を語れるような地域にしていきたい。
- ・かわまち検討会では、いろいろなことを教えていただき、堤防が出来ている背後には、どれだけのご苦労があったかということを改めて思っている。

以上